

講演会・各種行事のお知らせ

(8月20日以降分)

名 称	日時・場所	内 容	備 考
鈴鹿中央総合病院 地域病診連携学術講演会	8月20日(木) 午後6時15分～ 鈴鹿中央総合病院 北館2階〔講義室〕 ※Web参加可	特別講演「三重県における救急・集中治療の到達点と現実解：新体制発足後3年の統括」 (講師) 三重大学大学院医学系研究科 救急集中治療医学 教授 鈴木 圭 氏 他 ◆お問合せ先 Yuichi_Fujii@terumo.co.jp テルモ(株) 藤井 TEL 080-2183-9520	共催： 鈴鹿市医師会 亀山医師会 鈴鹿中央総合病院 テルモ(株) CC(単位数)： 0(1)
第259回木曜集談会	8月20日(木) 午後7時15分～ 三重北医療センター 菰野厚生病院4階 〔会議室〕 ※Web参加可	特別講演「泌尿器科診療の最近の話題～前立腺癌、排尿障害、尿路結石を中心に」 (講師) 名古屋市立大学大学院医学研究科 腎泌尿器科分野 教授 安井 孝周 氏 ◆お問合せ先 yoshiyuki.kumashiro@astellas.com アステラス製薬(株) 神代 TEL 090-7415-2605	共催： 四日市医師会 三重北医療センター 菰野厚生病院 アステラス製薬(株) CC(単位数)： 64(1)
労災医療・自賠責保険 研修会	8月22日(土) 午後2時～ 三重県医師会館	(1)労災診療費請求書審査に係る留意点について (2)労災診療費の算定基準の改定について (3)当院における創外固定の現状 (講師) 伊勢赤十字病院 整形外科・リハビリテーション科 部長 森川 丞二 氏 (4)労災診療費算定実務講座 (5)自賠責保険損害調査のしくみ ◆お問合せ先 三重県医師会 TEL 059-228-3822	主催： 三重労働局 労災保険情報センター 三重県自動車保険 医療連絡協議会 CC(単位数)： 57(1)
地域医療支援病院講演会	8月26日(水) 午後6時30分～ 鈴鹿回生病院3階 〔講義室〕 ※Web参加可	特別講演「アルツハイマー型認知症とAgitation－その新しい理解と早期薬物療法－」 (講師) おくむらメモリークリニック 院長 奥村 歩 氏 ◆お問合せ先 Hirayama.Katsuya@otsuka.jp 大塚製薬(株) 平山 TEL 070-8705-0299	共催： 鈴鹿市医師会 亀山医師会 鈴鹿回生病院 大塚製薬(株) CC(単位数)： 69(1)
第61回糖尿病地域連携 研究会	8月27日(木) 午後7時～ 四日市糖尿病クリニック ※Web参加可	「内科医が語る歯周病と血糖コントロール」 (講師) 四日市糖尿病クリニック 理事 水林 竜一 氏 他 ◆お問合せ先 Shuhei.Hashimoto@sanofi.com サノフィ(株) 橋本 TEL 080-5886-5837	共催： 四日市医師会 サノフィ(株) CC(単位数)： 47(0.5)
地域で考える認知症診療	8月27日(木) 午後7時～ Web配信のみ	「かかりつけ医・認知症サポート医のためのBPSDに対応する向精神薬使用ガイドライン(第3版)改訂のポイント」 (講師) 筑波大学医学部医療系臨床医学域 精神医学 教授 新井 哲明 氏 他 ◆お問合せ先 大塚製薬(株) 坂上 TEL 070-8788-6682	共催： 津地区医師会 大塚製薬(株) CC(単位数)： 29(0.5)

名 称	日時・場所	内 容	備 考
心不全WEBセミナー	9月2日(水) 午後6時30分～ Web配信のみ	(1)心不全治療の現在地 最新ガイドラインにおけるケレンディアの位置づけ (講師) 鈴鹿中央総合病院循環器内科 牧 野 翠 氏 (2)HFpEFマネジメントのNew Era～“見逃さない”から“積極的な診断治療介入”へ～ (講師) 群馬大学医学部附属病院循環器内科 講師 小保方 優 氏 ◆お問合せ先 hiroshi.kojima@bayer.com バイエル薬品(株) 小島 TEL 090-5258-5203	共催： 鈴鹿市医師会 亀山医師会 バイエル薬品(株) CC(単位数)： 未定
Obesity Disease Seminar in SUZUKA	9月7日(月) 午後7時～ Web配信のみ	(1)未定 (講師) 鈴鹿中央総合病院 院長補佐 太 田 覚 史 氏 (2)未定 (講師) ㈱三井住友銀行 大阪健康サポートセンター 副センター長 増 田 大 作 氏 ◆お問合せ先 hiroto.yamada@tanabe-pharma.com 田辺ファーマ(株) 山田 TEL 080-5776-5049	共催： 鈴鹿市医師会 日本イーライリリー(株) 田辺ファーマ(株) CC(単位数)： 82(1)
日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修会	9月13日(日) 午前10時～ 三重県医師会館 (事前申込制)	(1)慢性心不全の診断と治療 (2)関節リウマチ・膠原病の臨床 (3)在宅を支えるリハビリテーション (4)当事者から学ぶ「新しい認知症観」 (5)医療現場におけるDXの活用 (6)症例検討～がん／非がんの緩和ケア ◆お問合せ先 三重県医師会 TEL 059-228-3822	主催： 日本医師会 CC(単位数)： 9, 19, 29, 61, 73, 81 (各1)
高血圧治療 Up To Date	9月18日(金) 午後7時15分～ ホテルグリーンパーク鈴鹿2階〔鈴鹿〕 ※Web参加可	特別演題「治療抵抗性高血圧の最新治療戦略」 (講師) 自治医科大学内科学講座 循環器内科学部門 教授 荻 尾 七 臣 氏 ◆お問合せ先 Hirayama.Katsuya@otsuka.jp 大塚製薬(株) 平山 TEL 070-8705-0299	共催： 鈴鹿市医師会 亀山医師会 大塚メディカルデバイス(株) 大塚製薬(株) CC(単位数)： 74(1)
第1回日本医師会生涯教育講座	10月4日(日) 午後2時30分～ 三重県医師会館 伊勢地区医師会館 尾鷲総合病院 (事前申込制)	(1)成人の食物アレルギーについて (講師) 徳田ファミリークリニック 小児科・アレルギー科 徳 田 玲 子 氏 (2)臨床倫理を再考する 【専門医共通講習－医療倫理：1単位】申請中 (講師) 三重大学医学部附属病院 副院長 医療安全管理部 教授 兼 児 敏 浩 氏 ◆お問合せ先 三重県医師会 TEL 059-228-3822	主催： 三重県医師会 CC(単位数)： 2, 26(各1)

※CCとは日医生涯教育講座カリキュラムコードの略です。
※内容が変更になる場合がありますのでご了承下さい。

三重産業保健総合支援センター 令和8年度産業保健研修会(10月～3月分)

【申込み方法】原則、当センターのホームページ（以下、HPといいます。）の「研修のご案内申込み」の「研修会申込み」の画面から、研修会の5日前までに行ってください。

【申込み回数】少しでも多くの方に研修の機会を設けさせていただきたく、「産業医向け研修会」については、お1人様1ヶ月間に1研修以内とします。

【受付開始日】研修会開催日の属する月の初日の2ヶ月前の開催日の午前8時頃からとします。

【受付締切日】研修会5日前までとしますが、定員になり次第受付を終了します。ただし、キャンセル等で定員に余裕ができた場合は、受付を再開しますので、希望される研修会については、随時HPを確認してください。

【申込み前に！】必ずHPの「産業保健研修会の注意事項」をご覧ください、ご理解の上、お申込みください。なお、天災事変、申込者が少ない場合や講師都合等により研修会を中止する場合があります。既に申込み済みの方には、当センターから連絡させていただきます。

【研修会場】三重さんぽセンター会議室（三重県医師会館5階）です。

【研修時間】「産業医向け研修会」は14時30分から16時30分までの2時間が基本ですが、一部の研修会は開始時間等が異なりますのでご注意ください。なお、都合等で欠席される場合は、早めに必ず連絡をお願いします。

【ご注意1】研修会に15分以上の遅刻・早退があった場合は、一切、単位取得が認められませんのでご留意願います。

【ご注意2】メルマガ登録をいただき、月2回目の研修受講の特典を利用して研修会を申込みの際には、当センターHPの申込みフォームの「メルマガパスワード」欄に、その月号に記載の「パスワード」を必ず記入願います。記入がない場合は、特典をご利用いただくことができませんのでご理解、ご協力をお願いします。

【連絡先】三重さんぽセンター

〒514-0003 津市桜橋2丁目191番地4 三重県医師会館5階 HPアドレス <https://www.mies.johas.go.jp/> TEL 059-213-0711

◆産業医向け研修会（日医認定産業医『生涯研修』の単位が取得できる指定研修となる予定です。）

*は研修時間にご注意ください。

開催日時	研 修 会 テ ー マ	講 師 所属・役職・主な資格等 定員 / 認定研修
	内 容	
10月1日(木) 14:30～16:30	メンタルヘルスに関わる心理検査（エゴグラム検査）の実習と活用法の検討 E.バーンの交流分析理論のうち「自我構造分析」を取り上げ、自我構造分析に用いるエゴグラム検査の開発過程をS.フロイトの理論との関連で解説するとともに実習を行い、メンタルヘルスへの適用について考えます。	竹内登規夫 (大)愛知教育大学 名誉教授 28名 生涯：実地2単位
10月8日(木) 14:30～16:30	職場における感染症対策 職場における感染症対策の重要性について、事例を挙げてご紹介します。	神谷 元 (大)三重大学大学院医学系研究科 教授 28名 生涯：専門2単位
10月13日(火) 14:30～16:30	職場における受動喫煙対策～法令遵守と健康経営の両立～ 受動喫煙防止は、法令遵守の観点だけでなく、従業員の健康保持増進、企業の社会的責任やイメージ向上に直結する課題です。本研修では、改正健康増進法や労働安全衛生法に基づく最新の対応要件を整理し、実務で求められる管理体制や労働衛生委員会での取組の進め方を解説します。加えて、喫煙対策を単なる義務対応にとどめず、健康経営の一環として推進するための具体的な工夫についても紹介します。	吉川 諒 (株)吉川労働衛生コンサルタント産業医三重事務所 代表取締役 労働衛生コンサルタント・産業医 28名 生涯：専門2単位
10月14日(水) * 13:30～15:30	労働基準法のあらまし 労働トラブル未然防止のための労働関係法及び働き方改革関連法について、事例を交えて説明します。	大西洋一 社会保険労務士 28名 生涯：更新2単位
10月15日(木) 14:30～16:30	最近の労働衛生行政の動向及び安全衛生の基本対策 労働者の健康をめぐる状況、メンタルヘルス対策の推進など最近の労働衛生対策の動向及び安全衛生の基本対策についてお話しします。	梅原 剛 三重労働局労働基準部健康安全課 労働衛生専門官 28名 生涯：更新2単位
10月22日(木) 14:30～16:30	歯周病などの歯科疾患と生活習慣病との関連について 歯科疾患と生活習慣病は深く関連しています。今回は、歯周病と全身の健康との関連と歯周病予防についてお話しします。	福森哲也 (公社)三重県歯科医師会 副会長 28名 生涯：専門2単位

10月27日(火) 14:30～16:30	労災補償制度の概要	増田伸士 中村重昭 三重労働局労働基準部労災補償課 主任地方労災補償監察官 地方労災補償監察官 28名 生涯：更新2単位
	労災保険給付の概要及び労災認定の考え方についてお話しします。(6月30日と同一内容)	
11月4日(水) 14:30～16:30	メンタルヘルスにおけるセルフケアの支援	竹内登規夫 (大)愛知教育大学 名誉教授 28名 生涯：実地2単位
	メンタルヘルスを維持・増進し、メンタル不調に陥らないために働く人(管理監督者を含む)一人一人に最も大切なのはセルフケアです。しかし、なかなか実践できないのもセルフケアです。そこで、セルフケアとして望ましい生活習慣づけやストレスコーピングの在り方、さらには自律訓練法の解説と実習を行います。これらを産業医活動の中でのセルフケア支援に活用いただければと思います。	
11月5日(木) 14:30～16:30	発達障害のある方への理解と対応	楠本みちる 三重県立こころの医療センター 参事 28名 生涯：専門2単位
	発達障害のある方に対する理解と、その効果的な対応方法についてお話しします。	
11月18日(水) 14:30～16:30	「エイジフレンドリーガイドライン」を踏まえた労働災害防止対策	伊能雅彦 労働衛生コンサルタント・第一種作業環境測定士 28名 生涯：専門2単位
	令和7年の法改正により、事業者に対し、高齢労働者の安全確保が努力義務化されました。高齢労働者の労働災害防止対策について、エイジフレンドリーガイドラインをもとに解説します。	
11月19日(木) 14:30～16:30	働く女性の母性健康管理・仕事と家庭の両立	佐藤祐馬 田丸銀嶺 三重労働局雇用環境・均等室 指導係長 雇用環境改善・均等推進指導官 28名 生涯：更新2単位
	女性労働者の妊娠から出産後にかけて事業主が講ずべき措置や母性保護規定等について解説します。また、育児・介護休業法に基づく各制度の解説、運用ポイントなどについて説明します。	
11月26日(木) 14:30～16:30	振動障害予防指針に基づく労働衛生管理	谷垣己子男 労働衛生コンサルタント・第一種作業環境測定士 28名 生涯：専門2単位
	振動工具の取扱い業務における障害予防指針とその管理方法について考えます。	
12月3日(木) 14:30～16:30	職場のメンタルヘルス支援と薬物療法の実際～不眠症編～	中村友喜 三重県立こころの医療センター 診断技師部技師長兼薬剤室長兼感染管理室長 28名 生涯：専門2単位
	不眠症に関する薬物療法の実践ポイントについて、その要点を整理します。各薬剤の作用機序や選択基準、非薬物療法との併用方針について、最新のエビデンスを踏まえてお伝えします。	
12月15日(火) 14:30～16:30	職場におけるアレルギー疾患対策	藤澤隆夫 (独)国立病院機構三重病院 名誉院長 28名 生涯：専門2単位
	職業性喘息、職業性皮膚疾患、職業性アレルギー性鼻炎、職業性食物アレルギー、職業性アナフィラキシーにおける原因(病態)、診断、対策について解説します。	
12月17日(木) 14:30～16:30	労働者の作業行動を起因とする行動災害「転倒・腰痛予防対策」	寶 幸夫 中央労働災害防止協会腰痛予防労働衛生教育 (福祉・医療分野)インストラクター 28名 生涯：実地2単位
	労働災害の大きな原因である行動災害の、転倒・腰痛(動作の反動・無理な動作)予防対策を、腰痛予防対策指針の解説と事例演習を行い説明します。	
1月12日(火) 14:30～16:30	じん肺及び粉じんによる健康障害の診断と健康管理	柴田英治 (学)四日市看護医療大学 学長 28名 生涯：専門2単位
	じん肺法に基づく健康管理の仕組みや健康管理手帳など改めて教科書的な知識の確認とともに、じん肺、粉じんによる健康障害について基本から最新の法規制についても解説します。	
1月14日(木) 14:30～16:30	セクハラ・パワハラに対する産業医の向き合い方	國田武二郎 あすなる法律事務所 所長・弁護士 28名 生涯：専門2単位
	相変わらずセクハラ・パワハラ事案が発生し、職場で問題となっています。そこで、産業医がそうした問題にどう向き合うかについて、法的視点から解説します。	
1月28日(木) 14:30～16:30	化学物質管理のための作業環境測定(場の測定、個人ばく露測定)	村田和弘 労働衛生コンサルタント・第一種作業環境測定士 28名 生涯：専門2単位
	安衛法令で義務付けられている作業環境測定、溶接ヒュームの個人ばく露測定、濃度基準値設定物質の確認測定など最近の法令改正を踏まえた、化学物質管理のための作業環境測定(場の測定、個人ばく露測定)について紹介します。	

2月4日(木) 14:30～16:30	ペイシエントハラスメントへの対策～医療者と医療現場を守る～	前川光子 社会保険労務士 28名 生涯：更新2単位
	カスタマーハラスメントの防止措置が事業主の義務となります。最新の法改正と指針に基づき、特に医療機関におけるペイシエントハラスメントに焦点を当て、その対策について解説します。	
2月9日(火) 14:30～16:30	産業医としての「伴走力」を高める～休職から復職までの関わり方～	星野 宏 公認心理師 教授システム学修士 1級キャリアコンサルティング技能士 28名 生涯：専門2単位
	メンタル不調で休職した労働者に対する復職までのプロセスにおいて、産業医がどのように関わり支援できるかを、具体的事例を通してお伝えします。	
2月18日(木) 14:30～16:30	最近の労働衛生関係動向と改正騒音ガイドラインの内容	谷垣己子男 労働衛生コンサルタント・第一種作業環境測定士 28名 生涯：専門2単位
	最近の労働衛生をめぐる動向と改正された騒音ガイドラインの内容について考えます。	
2月25日(木) 14:30～16:30	パワーハラスメント防止対策と申告があった場合の事業主の措置	鈴木栄智 鈴木栄智法律事務所 代表・弁護士 28名 生涯：専門2単位
	パワーハラスメントが起こる背景と予防対策、申告があった場合の措置、認められた場合の個別の対応、その後の事業主としての措置について、裁判例を元に解説します。	
3月4日(木) 14:30～16:30	アサーティブネスコミュニケーションの在り方を考える	竹内登規夫 (大)愛知教育大学 名誉教授 28名 生涯：実地2単位
	アサーティブネス（アサーション）はコミュニケーション技法の一つです。この用語は、1950年頃から心理学領域で用いられるようになり「自己主張」という意味です。相手の考え方を尊重しながら対等に自己主張をしていくコミュニケーションスキルで、人間関係豊かでストレスの少ない職場づくりにとって大切なスキルですので、演習をしながら学びましょう。	
3月9日(火) 14:30～16:30	行動変容を促す保健指導～その気にさせるコツ～	河野啓子 (学)四日市看護医療大学 名誉学長 28名 生涯：実地2単位
	働く人々への保健指導は難しいといわれていますが、その難しさをクリアするための保健指導のあり方について、演習方式で考えます。	
3月11日(木) 14:30～16:30	事業場における治療と就業の両立支援	上住津恵 当センター産業保健専門職 28名 生涯：専門2単位
	労働施策総合推進法の一部改正により、事業主に対し、職場における治療と就業の両立を促進するための必要な措置を講じる努力義務が課され、令和8年4月から施行されました。公表された「治療と就業の両立支援指針」に沿って、両立支援の進め方や対応のポイント等についてお話しします。	

『学 術』原稿募集

三重医報では、学術欄の充実をはかっております。病院の院内症例、珍しい症例、困った症例、興味のある症例等について簡単にまとめていただき、ご寄稿くださいますようお願いいたします。

尚、学会誌に寄稿されていない症例などをお待ちしております。

記

1. 字数は2,400字程度とし、所属ならびに記名入りで掲載いたします。
2. 原稿の締め切りは毎月15日とします。
3. 三重医報「冊子版」は白黒での掲載となりますので、ご了承ください。

(送付先)

三重県医師会 三重医報『学術』係宛

〒514-8538 津市桜橋2丁目191番4

(広報担当理事)